

山行名		鎌倉・江の島七福神巡り(8ヶ所の寺社参拝)				(神奈川県)			
実施日		令和8年1月07日(水) 日帰り 公共交通利用(本厚木駅集合8名/北鎌倉駅集合2名)							
天候／参加人員		天候:曇りのち晴れ(max9℃)、 レベル★、参加者:申込12名／実施10名(男性2/女性8)							
パーティスタッフ		省略							
参加メンバ		省略							
費用		約2,874円(交通費¥1,574+拝観料¥1,300)							
2,874円 (本厚木駅起点)		◆交通費:往路:本厚木(厚木・茅ヶ崎・大船経由)JR北鎌倉¥642、江ノ電(鎌倉→長谷¥200、長谷→江ノ電江ノ島¥260)¥460、帰路:片瀬江の島(藤沢／相模大野経由)本厚木駅¥472 ◆拝観料:浄智寺¥300+宝戒寺¥400、長谷寺¥400、江島弁財天奉安殿¥200)¥1,300							
歩行/行動時間		歩行時間		休憩・参拝時間*		行動時間*		* 江ノ電での移動時間27分を含む	
	ガイドブック	1:42		—		—			
	計画	2:26		3:44		6:10			
	実行	2:57		3:10		6:07		歩行数: ~21,000 歩	
実行コースタイム記録									
(集合8名)小田急線 JR 相模線 JR 東海道線 JR 横須賀線 (集合2名)									
本厚木駅 8:50+++8:51 厚木駅 9:06+++9:28 茅ヶ崎 9:32+++9:44 大船 9:58+++10:01 北鎌倉駅(集合 9:58/出発 9:58)									
10分 29分 (参拝) 2分 (神代神楽)8分 (昼食) 5分 3分 8分 5分 15分									
北鎌倉駅…浄智寺…鶴ヶ岡八幡宮拝殿…神楽殿…源氏池藤棚下ベンチ…旗上弁財天…トイレ…宝戒寺…妙隆寺…本覚寺									
9:58 10:18 10:36 11:05 11:13 11:15 11:20 11:28 11:55 12:00 12:07 12:10 12:18 14:40 12:45 13:00 13:07									
9分 江ノ電7分 5分 8分 8分 江ノ電20分 27分 35分									
…鎌倉駅+++長谷駅…長谷寺…御霊神社…長谷駅++++江ノ電江ノ島駅…江島神社弁財天…小田急片瀬江ノ島駅									
13:16 13:18 13:25 13:30 14:10 14:18 14:20 14:28 14:33 14:53 15:20 15:30 16:05									
片瀬江ノ島駅 16:11+++16:18 藤沢駅 16:20+++ (大和駅乗換)+++16:50 相模大野 16:56+++17:08 本厚木駅									
コースの概要、特記事項、反省事項等									
◆コロナ禍で中断していた年始の七福神巡りを3年ぶりに復活し、8ヶ所の寺社を巡る「鎌倉・江の島七福神」を10名のメンバで廻った。今回の参加メンバの特徴は、シニアメンバは4名のみで、残り6名中、4名がゆった〜り山行初参加のフレッシュメンバで、シニアメンバの歩行ペースに合わせて行動していただいた。その結果、全コースを計画書記載コースタイム通りに巡り、約2.1万歩のウォーキングを楽しんだ。									
◆七福神を祀る八寺社巡りの概要(時系列順に記述):									
① 浄智寺(布袋尊):スタートの北鎌倉駅から徒歩10分。鎌倉五山第四位の臨済宗円覚寺派で、鎌倉後期創建の禅寺。本堂(曇華殿)の木造三世仏坐像を参拝したのち、境内のヤグラ(凝灰岩の洞窟)内の等身大布袋尊石像に手を合わせた。									
② 鶴岡八幡宮(旗上弁財天):鎌倉街道(県道21号)を南に約30分歩いて裏口から鶴岡八幡宮に入場。御朱印や破魔弓等を買って求める大勢の参拝客をかき分け、まず本殿を参拝。石段を下った先の舞殿で優雅に舞う神代神楽をしばし鑑賞。その後、源氏池畔藤棚下ベンチに移動し、早めのランチタイム。池に群れ、けたたましい鳴き声で飛び回るカモの騒音に悩まされた。食後、源氏池中央の小島に祀られている旗上弁財天社を参拝。本尊の「裸弁財天」(鎌倉時代作)は、国宝館に収蔵してあるため、社に手を合わせるのみ。それでも七福神巡りの参拝客で賑わっていた。									
③ 宝戒寺(毘沙門天):三の鳥居を出て、西に5分歩くと宝戒寺。山門を潜り、本堂に祀られている本尊「子育経読地蔵大菩薩」(重文)の左に控える四天王の一人「毘沙門天」に手を合わせる。この後、各自境内の梵鐘を撞く。旧北条旧居跡のこの地に、執権北条九代の霊を弔うために、後醍醐天皇の命により創建された天台宗の寺で萩の寺として有名。境内に咲く超早咲き梅花に歓声。									
④ 妙隆寺(寿老人):小町大路を南に5分歩いて到着。千葉常胤の子孫・胤貞の邸宅跡に建てられた日蓮宗の寺で、本堂右手のお堂の中に祀られた、足元に鹿を従えた櫛の一本造りの寿老人像に手を合わせた。									
⑤ 本覚寺(夷尊神):小町大路をさらに南下すると恵比須様と親しまれている日蓮宗本覚寺に到着。本堂右に立派な「えびす堂」があり、堂内に鎮座する眼光鋭い恵比須像に手を合わせた。なお、七福神の中でこの神様のみが日本の神様だそうだ。									
⑥ 長谷寺(大黒天):江ノ電で長谷駅へ移動し、浄土宗長谷寺へ。早速、観音堂で、黄金に輝く巨大な本尊十一面観音立像(像高9.18m)と阿弥陀堂の阿弥陀如来坐像を参拝。見晴台で一休みし、鎌倉の町並みと由比ガ浜の展望を堪能。その後大黒堂で、出世・開運授け大黒天とさわり大黒天を参拝。東日本最古の大黒天像(鎌倉初期作はミュージアム内で保管・非公開)には会えなかった。									
⑦ 御霊神社(福祿寿):南隣に鎮座するこの神社は、平安時代に活躍した関東平氏の始祖「鎌倉権五郎景政」を祀る。福祿寿の面を含む11の神楽面が社宝として、神社脇の保管庫に保管されており、その中に並ぶ福祿寿のお面を確認し手を合わせた。									
⑧ 江島神社(弁財天):江ノ電で江ノ島駅に移動。大勢の観光客に交じって、徒歩30分を要して江島神社辺津宮に到着。八角堂「奉安殿」で、日本三大弁財天の一つとして名高い劔を捧げる八臂弁財天(重文)と裸体姿で琵琶を奏でる妙音弁財天(鎌倉期作)に参拝し七福神巡りを完遂。江の島弁天橋から茜色の空に浮かぶ幻想的な富士山のシルエットを愛でながら帰路についた。									